

●Topics…新型コロナウイルス感染症対策／医療機関向けのお問い合わせや情報提供  
●取組案内1…**第三内科** ●取組案内2…**肝疾患相談室**

附属病院の最新の医療を紹介する広報誌VOL.14が出来上がりました。これを機会に当院の医療を知っていただき、地域のリソースとして有効に活用していただければと思います。

## Topics

## 新型コロナウイルス感染症の対応について

2020年2月頃から世界中で流行している新型コロナウイルス感染症ですが、日本では緊急事態宣言等を経て、第一波とも言える患者発生が一区切りしています。県内では、主に家族内や事業所・高齢者施設内での集団発生により、69人の感染者が発生しました。ただ、無症状や軽症の場合は病院を受診しないことも多いので、他にも感染した人がいたかもしれませんし、今もいるのかもしれません。

今後、第二波が来るのかどうか、その大きさはどうなるのか、非常に不確実な情勢です。「新しい生活様式」に沿って人々が感染リスクを下げ、医療機関も同様に可能な範囲で感染リスクを下げる行動を取ることで、社会全体のウイルスへの対策が進んで行くと考えます。

さて、医療機関はその性質上、密集・近接・密閉といったウイルスにとって都合のよい環境になりやすく、高齢者など感染した場合に重症化したり感染しやすかったりする人が多く集まる場所です。一般社会よりも高い意識と感染防止の強化策が必要と考えられます。

「新しい生活様式」に加えて、医療従事者や医療機関が最

低限実施すべき事として、以下のような対策が挙げられます。

- ・ **職員の健康管理、特に毎日の体温測定とその記録**
- ・ **発熱などの体調不良時には上司や職場と相談して出勤しない**
- ・ **常時サージカルマスクを着用し、昼食などの時になるべく向かい合わない**
- ・ **発熱など体調不良のある患者を早めに見つけ、離れたところで診察・対応する**

当院では2月以降、発熱者など新型コロナ感染の可能性のある患者を別の場所で診察する体制や院内でPCR検査を行える体制、大流行に備えた病床や予定手術の削減などの医療体制を整えてきました。流行が一旦終息しつつある今は、通常の医療体制に戻つつ、再び「コロナシフト」へ移行できる体制も維持しています。今後も県内の医療機関と連携を取り、本県の医療体制をできる限り維持していく所存です。



病院入口での検温実施（サーモグラフィを使用）



PCR検査機器



医療資源不足への対応：紫外線照射によるN95マスクの消毒・再使用（左の黒い部分から紫外線を照射）

## 取組案内 1 第三内科

### 県内唯一の骨髄バンク認定施設、治験も実施し血液疾患に対する最先端医療を提供

血液内科は白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫などの血液疾患の診断・治療に幅広く対応しています。県内唯一の骨髄・臍帯血バンク認定施設として、造血幹細胞移植を年間30例程度実施しています。また治験により新薬承認を目指すと共に、日本成人白血病治療共同研究グループ(JALSG)、日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)にも参加するなど臨床研究を積極的に行っており、山形での標準治療の実施と最先端の治療法の開発を目指しています。

### 幅広い神経内科疾患に対応した診療を実践

脳神経内科では、脳卒中、パーキンソン病や筋萎縮性側索硬化症などの神経難病、アルツハイマー病、正常圧水頭症など

の認知症疾患、多発性硬化症・視神経脊髄炎、重症筋無力症などの神経免疫疾患、末梢神経疾患、筋疾患など幅広い疾患を担当しています。新規治療薬の開発がすすみ治療の選択肢が広がっている病気も増えております。今後も最新の診療を提供し、山形県内の医療に貢献できるよう努めてまいります。

### 連携を重視した糖尿病・内分泌診療

糖尿病診療では、持続血糖測定器やインスリン持続皮下注射療法など最先端の治療に対応し、透析予防やフットケア等の専門的療養指導を提供しております。代謝内分泌診療では、下垂体、甲状腺、副腎疾患を中心に各種負荷試験やカテーテルサンプリング等による確実な診断と治療を実践しております。今後もこの分野における山形県の高度医療の提供と発展に努めてまいります。



無菌病室



神経回診風景



持続血糖測定器

## 取組案内 2 肝疾患相談室

### 肝疾患に関する相談を受け付けています。

当院は、山形県肝疾患診療連携拠点病院として認定されており、そのうちの活動としての肝疾患相談室は発足して10年目を迎えました。B型肝炎、C型肝炎の治療の進歩はめざましく、C型肝炎は飲み薬で治癒するようになってきました。しかし、いまだに感染していることを知らない人、感染していても専門医を受診しない人がいると思われます。肝疾患で不安なことや聞きたいことがあれば、相談室は下記の時間で受け付けていますので、肝疾患の患者様へ御周知お願いできればと思います。

また、各病院、医院へ肝炎、肝臓の知識をもった山形県肝炎医療コーディネーターの養成を山形県とともに進めており、毎年10月頃に講習会とテストを行い、認定しています。現在、山形県内で128名、大学病院内でも36名の肝炎医療コーディネーターが認定されています。

肝炎はきちんと検査して治療を行えば心配ないのですが、放置してしまうと肝硬変、肝臓がんに至ります。受検(肝炎検査を受けること)、受診(医療機関を受診すること)、受療(治療を受けること)が大事であるといわれておりますが、肝疾患相談室、肝炎医療コーディネーターはその手助けを行っておりますので、気軽にお問い合わせください。

#### ●電話相談の受付

(詳しくは山形大学医学部附属病院山形県肝疾患拠点病院のホームページをご覧ください。)

#### □一般の方 電話番号 023-628-5881

月・木曜日 13～16時(祝日・年末年始を除く)

#### □医療関係者の方 電話番号 023-628-5881

月～金曜日 10時～16時(祝日・年末年始を除く)

(担当医が不在時は折り返しお電話いたします。)



肝疾患相談室のスタッフ